

《目次》	P 1…大会長挨拶	P 6…参加報告	P 10…病院・ふるさと紹介
	P 2…全国研修会報告	P 7…新設局・部の紹介	P 11…ちょっといい話
	P 3…新会員紹介	P 8…各局からのお知らせ	会員 PICK UP

## 山梨県言語聴覚士会第 5 回学術大会開催にあたって

大会長 望月 真由美（石和共立病院）

このたび、山梨県言語聴覚士会第 5 回学術大会を平成 24 年 11 月 11 日に開催させていただくことになりました。第 5 回という節目の回に大会長をさせていただくことは誠に光栄であり、皆様のご厚情とご支援に深く感謝申し上げます。

今年度は、医療・介護の診療報酬同時改定がおこなわれ、医療機関と在宅分野での「連携」を報酬の中に打ち出しています。これからの地域医療活動をどう展開するのかを考える上で医療・介護の「連携」は必須です。

このことを踏まえ、今回のテーマは「我々に何ができるのかー生活を見据えた言語聴覚療法を考えるー」とさせていただきます。

近年、言語聴覚士が活躍するフィールドは広がっています。患者様が退院後いきいきと生活していくために、それぞれの現場で、言語聴覚士として何ができるのか、何をしなければならないのか、どのように在宅生活へと繋げていくのかなど、共に考え、学びを得る機会になる大会にしたいと考えております。

午前は臨床現場での成果や取り組みをご口演いただき、共に学び、共有したいと思っております。日々の業務のお忙しい中、8 演題のご提出をいただき感謝申し上げます。午後は、お二人の講師をお招きして、それぞれの立場から、言語障害がある方への生活支援のあり方などを中心にご講演をいただく予定です。その後、シンポジウムで 3 名の方にそれぞれの領域での立場から情報提供や問題提起をしていただき、皆様と共に意見交換を行い、テーマを深めていきたいと思っております。

これまで 4 回開催されました本学術大会での学びの上に今回の内容を積み重ねていくことで、言語聴覚士としてのさらなる向上に繋がっていく大会になるのではと私自身も期待をしております。

お土産としてたくさんの学びを持ち帰り、臨床現場で役立てる事が出来る大会にしたいと実行委員一同準備を進めております。皆様のご参加とご協力を心からお願い申し上げます。

末筆になりましたが、開催にあたり準備、運営にご尽力を頂いております実行委員の方々に深く感謝申し上げます。



## 平成 24 年度 第 2 回全国研修会（山梨会場）開催報告

甲州リハビリテーション病院 石原 徳子

平成 24 年 7 月 29 日（日）、第 2 回全国研修会を甲府商工会議所で開催しました。

午前は「失語症以外の高次脳機能障害 Ver.2」と題し、総合南東北病院の佐藤睦子先生が、認知症と行政用語としての高次脳機能障害を中心にお話し下さいました。受講者からは「実際の症例もあり、わかりやすかった」「ユーモア理解度・他者配慮度など新しい視点を教えて頂き、臨床に活かしていきたい」等の多くの感想を頂きました。午後は「回復期リハビリテーション病棟における言語聴覚士の役割 Ver.2」と題し、福井総合病院の中澤久夫先生が、認知機能から患者さんを多角的に診るための視点をお話し下さり、「認知機能と ADL・身体機能の関係が参考になった」「多職種との情報共有・連携を積極的に行いたい」という意見が多く、日々の臨床を振り返った方も多かったようです。



受講者数は、午前 76 名・午後 66 名で、近県だけではなく中国・四国地方からも参加があり、猛暑日の暑さに負けないくらい、熱い充実した時間となりました。研修会で得た知識を実践に活かして頂き、業務等で参加できなかった言語聴覚士や他職種へも伝達して頂ければ幸いです。

最後になりましたが、日常業務もお忙しい中、研修会運営にご協力頂きました、実行委員・理事に感謝いたします。

---

## 福島県言語聴覚士会支援活動報告

福島県言語聴覚士会会長の佐藤先生が全国研修会での講師を務めて下さることが決まり、山梨県言語聴覚士会理事会で協議し、全国研修会会場で東日本大震災復興支援のチャリティー活動をさせて頂きました。クッキー（授産施設エスプランサ）、ぶどうジュースとワイン（東農洋酒株式会社）、石のストラップ（株式会社タンザワ）を販売し、収益は福島県言語聴覚士会へ贈らせて頂きました。山梨らしさを感じられる内容であり、手頃な価格で協力しやすかったと受講者からも好評でした。趣旨に賛同下さいました受講者、施設・企業の皆さまにこの場を借りてお礼申し上げます。

（文責 石原 徳子）



# 平成 24 年度 新会員紹介

## 山梨リハビリテーション病院

はせがわ かすこ  
長谷川 和子



新人紹介のコーナーに顔を出していいものか・・・旧人、いえ原人の長谷川です。北里大学病院（神奈川県）、諏訪赤十字病院（長野県）と渡り歩き、現在山梨リハ病院に非常勤で勤めています。この間言語聴覚士の臨床は、摂食嚥下リハが加わり、脳の可塑性が証明され脳リハに力がそそがれるなど大きく発展した面もありますが、一方で患者さんの回復したいという希望にどれだけ応えられてきたのか、失語症や麻痺の訓練の難しさはあまり変わっていません。言語聴覚士である間は一緒に勉強をさせていただきたいと思しますので、よろしくお願ひいたします。

## 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

やすとみ ともこ  
安富 朋子



田んぼに囲まれ田んぼで育った静岡県出身の安富です。初めての一人暮らしであり、仕事に家事に毎日奮闘中です。食べることは大大得意ですが、料理ができない…という大きな欠点が…しかしそんな私にも得意料理ができました！その名はゴツタ煮？！正直美味しすぎます！！親に反対されながらも自分で選んだこの地で、言語聴覚士としても人としても、大きく成長できるよう頑張ります。自分に厳しく、人に優しく！！宜しくお願ひ致します。

## 山梨リハビリテーション病院

こまつ ふみこ  
小松 富美子



出身は山梨県の大月市です。昨年までは埼玉県に住んでいました。趣味は音楽を聴くことです。人見知りですぐ緊張してしまう性格なので、毎日の業務・臨床でもあわててしまうことが多いですが、先輩方にご指導、アドバイスをいただきながら少しずつでも成長していけるように日々努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

## 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

すずき しょうや  
鈴木 晶也



生まれは新潟、大学は埼玉、そして勤務先は山梨と故郷からどんどん離れている私。今では上の先生方には迷惑ばかりかけ毎日汗水・涙を流しながら臨床に励んでおります。患者様に必要とされ喜ばれる言語聴覚士を目指し、臨床に励みたいと思ひます。よろしくお願ひします。

## 富士吉田市立病院

ふなこし せいじ  
舟越 誠治



富士吉田の夏はなんて涼しいのでしょうか。岐阜県出身の自分としては夏がなかったかのようです。はじめまして、英一郎でも英二でもなく舟越誠治と申します。趣味は料理と JAZZ です。以前は神奈川の回復期病院に3年間おりました。結婚を機に山梨に参りました。妻はツル虎ノ門病院で言語聴覚士をしております。微力非才の身ではございますが、群内地域に貢献できるよう、妻ともども、しゃかりきになって努力する所存でございます。

## 巨摩共立病院

きうち あきこ  
木内 明子



昨年の9月から勤務しています。まだまだ、覚える事ばかりの日々であたふたとしています。仕事として、患者様や御家族様と関わるようになり、日々責任と患者様が笑顔で生活するために言語聴覚士として何が出来るのか考え続けなければいけないと感じています。未熟な私ですが、一步一步前に進んでいけるように頑張っています。

## 竜王リハビリテーション病院

こばやし かなえ  
小林 加苗



私の出身は神奈川県横浜市です。今回の就職をきっかけに山梨県にやって参りました。入職してから理学療法士・作業療法士の先生方に身体の硬さを指摘され、毎朝柔軟体操を始めました。少しずつですが身体が柔らかくなり、食事介助をはじめ日々の業務が楽になりました。喜びと共に日々の努力の大切さを改めて感じています。これからも言語聴覚士としても人間としても成長できるよう日々努力していきたいと思えます。よろしくお願い致します。

## 甲府城南病院

こやま りえ  
小山 莉依



出身は愛知県豊橋市で、聖隷クリストファー大学を卒業し、実習先である城南病院に就職致しました。“言語聴覚士・社会人・地元を離れる”どれも初めての経験で、とまどうこともありますが、私らしく笑顔と元気を忘れず、真摯に患者様と向き合う言語聴覚士を目指します。山梨の豊かな自然・おいしい食べ物・新たな出会いの中で、大きく成長できればと思えます。よろしくお願い致します。

## 巨摩共立病院

よねなが ひろえ  
米長 裕恵



非常勤として、昨年7月から復職いたしました。以前は、甲府市内の病院で、常勤／非常勤として勤務しておりました。数年のブランクがあり、“新人”の気持ちで再出奔いたしました。県土会の活動に参加させていただき、知識・スキルの向上に努めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

## 湯村温泉病院

ちだ あやこ  
千田 亜也子



出身は千葉県です。言語聴覚士になる前は8年間歯科衛生士として働いていました。嚥下の事が勉強したく、社会人から学生に戻り言語聴覚士になりました。日々分からない事が多いですが、楽しく働かせて頂いています。これからも諸先輩方から多くのことを学び成長していきたいと思えます。精一杯頑張りたいと思えますのでご指導宜しく願います。

## 甲府城南病院

かわむら ゆみ  
河村 有美



出身は静岡県浜松市です。大学卒業後、接客業の仕事に就いておりましたが、幼少時よりお世話になった祖母が病気になり、他者とコミュニケーションをとれないことに苛立つ姿を見て何とかしたいと思い、言語聴覚士になることを決めました。皆様から信頼して頂けるような言語聴覚士を目指し、頑張りたいと思えます。よろしくお願い致します。

## 甲府城南病院

のぐち あいな  
野口 愛奈



地元静岡県の維持期の病院で3年間摂食嚥下障害の患者様と関わらせて頂き、縁あって山梨で4年目のスタートを切ることとなりました。現在は急性期の病棟で、維持期とは違った面に日々戸惑う事もありますが、自分に出来る事を精一杯頑張りたいと思えます。趣味のドライブを通じて、山梨の魅力も見つけていきたいと思えます。よろしくお願い致します。

## 石和共立病院

すずき ちひろ  
鈴木 千裕



今年度から石和共立病院の入院リハ室で働いています。出身地は新潟県新潟市。趣味は読書、食べること。特技は楽器が吹けることです。知識や経験を多く積んでいきたいと思っています。患者さんに私のリハビリを楽しみに思ってもらい、患者さんとそのご家族に信頼される言語聴覚士になりたいです。迷惑をかけると思いますが今後ともよろしくお願い致します。

## 石和温泉病院

はやし まさひろ  
林 正裕



出身地は山梨県笛吹市。出身校は多摩リハビリテーション学院。趣味は映画鑑賞。境川町の山寺で大自然に囲まれて育ちました。日々変化がみられる臨床場面には、戸惑うことばかりですが、一生懸命な姿勢は誰にも負けないつもりでいます。非常に頭が固く、一休さんのようなトンチはききませんが、皆様と共に切磋琢磨して日々精進していけたらと思っています。よろしくお願い致します。

## 甲州リハビリテーション病院

あさかわ ひろと  
浅川 裕斗



今年の国家試験に合格し、無事言語聴覚士になる事が出来ました。言語聴覚士として、働き始めて早くも4カ月が経ちました。毎日患者様の評価や訓練で悩み、わからない事があります。その中でも、自分なりに考え、先輩に相談し、指導を頂き、日々の臨床で勉強し、言語聴覚士として成長出来る様に頑張っています。よろしく申し上げます。

## 甲州リハビリテーション病院

たなか みき  
田中 美希



山梨県に来て、初めての一人暮らしをしています。まだ、道もお店の場所も分からず、いつ迷子になってもおかしくない状態です。仕事の面では、先輩たちに助言や御指導をいただき、日々奮闘中です。これからも、言語聴覚士として頑張っていきたいと思しますので、皆様よろしくお願ひいたします。

## 石和共立病院

やまだ かおり  
山田 香



出身地は神奈川県横浜市。趣味はドライブ・音楽鑑賞。特技はお菓子作りです。初めての仕事・一人暮らしも半年が経ちましたが、まだまだ慣れない事も多く皆様にご迷惑をおかけしてしまう事も多いかと思いますが、お子さんや先生方から色々な事を学び成長していけるよう、頑張っていきます。よろしく申し上げます。

## 石和温泉病院

ただ みすほ  
多田 瑞穂



出身地は神奈川県横浜市。出身校は臨床福祉専門学校。趣味は旅行、テニス。1月から入職しました。まだまだ未熟で至らないところも多いですが、日々の出会いの中で多くのことを学ばせて頂いています。患者さまの笑顔に支えられながら、これからも初心を忘れずに精一杯精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

## 甲州リハビリテーション病院

かわしま まさひと  
川島 正史



出身は茨城県です。今まで県外に出ることが少なく、山梨県は初めてなので、方言や地名といった話になかなかついていけず、患者様から教わる事が多い毎日です。言語聴覚士として、しっかりと知識や技術を身に付けたいと思っています。知らないことも多く、社会人としても未熟なため、周りに迷惑を多々おかけしますが、頑張っていきますのでよろしくお願ひします。

## 笛吹中央病院

みやした かずや  
宮下 和也



私の出身地は長野県の佐久市ですが、縁あって隣県の山梨県笛吹の地まで来ることになりました。私は暑いのが苦手なので、ときどき避暑地の軽井沢が恋しくなる今日この頃ですが、山梨の暑さに負けず、患者様にとって最良のリハビリを提供できるよう日々精進していきますので、皆様今後とも何とぞ宜しくお願いします。

# 学会・研修会 参加報告

## 第 13 回 日本言語聴覚学会

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 外間 玲香

平成 24 年 6 月 15 日・16 日の 2 日間、福岡国際会議場にて第 13 回日本言語聴覚学会が開催されました。今回は「言語聴覚療法の専門性を追求する」という大会テーマのもと、特別講演・教育演題・シンポジウムなど約 270 題以上の口述講演がありました。



当県士会からも「介護予防事業自主グループ構築事業への参画～健康長寿体操の作成と普及～」について内山会長によるポスター発表が行われ、県士会会員を含む多くの方々が集まりました。発表では、作成した DVD を直接観て頂くことができ、多くの質問や意見が挙げられるなど無事終えることが出来ました。

今回の学会参加で新たな知識を吸収し、また自分自身の臨床場面を振り返る事のできた貴重な 2 日間となりました。たくさんの知識を持った言語聴覚士になれるよう、今後も日々の臨床の中で「なぜ？」と常に考えながら、患者様と向き合い取り組んでいきたいと思えます。

---

## 「摂食・嚥下サポート やまなし」第 20 回研修会

石和温泉病院 南 曜子

平成 24 年 7 月 11 日（水）甲府市総合市民会館において開催された「摂食・嚥下サポート やまなし」第 20 回研修会に参加しました。

話題提供「口腔ケア 再考」では、丸山幸江先生（山梨県歯科医師会 山梨口腔保健センター 歯科衛生士）がコーディネーターを務められ、「セルフケアが困難な方の口腔ケア基本手順」として、実際の口腔ケア場面の動画を用いながら解説されました。開口できるのにケアに応じない場合の対処方法など、すぐに臨床で活用できるような手技も紹介され、大変参考になりました。

この研修会には、私たち言語聴覚士だけでなく、摂食・嚥下に携わる多様な職種が参加しています。普段は関わることのない職種の話も聞くことができ、他職種との連携の必要性を実感すると同時に、摂食・嚥下領域での言語聴覚士の役割についてあらためて考える良い機会になりました。

# 新設局・部の紹介

## ～学術局・教育部～

### 教育部より

#### 学術局・教育部について

甲府城南病院 伊藤 理恵子

今年度より学術局に教育部が新設され、新卒者と既卒の希望者を対象にした新卒者研修会の企画・運営をしています。新卒者研修会は3年前から研修部員を中心に企画され、毎年、その年の新卒者に合わせたテーマで開催されてきました。昨年度までの研修部員の思いを引き継ぎ、教育部員が一丸となって更により良い基礎研修のサポートができるよう運営していきたいと思います。

今年度の新卒者研修会は全4回を企画しており、これまで2回の研修会が開催されました。「STとしての役割」、「対人コミュニケーションの基礎」等の臨床経験が豊富な先生方の貴重な講義や臨床の実践も踏まえたグループディスカッションなど充実した内容となっています。参加された先生方からも「勉強になった」、「明日からの臨床で実践していきたい」と、好評を頂いています。

今後も、言語聴覚士としてのステップアップに繋がるようサポートをしていきたいと思いますので、ご協力お願い致します。

### 参加者の声

#### 新卒者研修会に参加して

竜王リハビリテーション病院 小林 加苗

今年度2回の新卒者研修会に参加させて頂きました。全ての講義が臨床業務にすぐに生かせるものばかりで、とても充実した時間を過ごさせて頂いています。私の一番印象に残っている講義は、「コミュニケーション・スキル～聴く力と話す力を磨く！～」です。この講義では話の聴き方について、聴く態度を振り返ることや相手の話を正しく、より深く聴くためにはどうしたら良いかを講義して頂きました。日々の業務を行う中で自分にはコミュニケーション能力が足りないと感じ、向上させたいと思っていた時にこの講義を受け、自分のコミュニケーションを振り返ることで自分には何が足りないのか、今の自分には何が出来るのか気付くことができました。

新卒者研修会は、言語聴覚士としてはもちろん、人として大切な事を学ぶことができ、また自分はどうのような言語聴覚士になりたいのか考える機会となっています。自分の目指す言語聴覚士に少しでも近づけるよう、新卒者研修会で学んだ事を今後の業務に生かしていきたいと思っています。

# ◆ ◇ ◆ 各局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

## 事務局

- 平成24年度第2回理事会（6月11日：月）、第3回理事会（7月23日：月）、第4回理事会（9月26日：水）を開催しました。詳細はホームページに掲載してありますのでご覧ください。
  - 定期総会以降の会員動向についてお知らせします。
    - \*新入会員：田中 美希先生（甲州リハビリテーション病院）
    - \*改姓（旧姓）：有田（藤崎）笑子先生、池神（原）多加子先生、田中（難波）律子先生
    - \*名称変更：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院（春日居リハビリテーション病院）
- ※名簿記載事項に変更がありましたら、総務部河西までFAXでご連絡下さい。  
届出用紙は県土会ホームページからダウンロードできます。

## 学術局

### 学術部

#### 【活動報告】

##### ●第1回学術講演会 「摂食・嚥下障害に対するアプローチの実際」

講師：小島 千枝子 先生（聖隷クリストファー大学 言語聴覚学科 教授）

日時：平成24年8月22日（水）18：30～20：30

会場：甲州リハビリテーション病院 大木記念ホール

### 研修部

#### 【活動報告】

##### ●第2回症例検討会 発表者：甲州リハビリテーション病院 堀込 直実先生

日時：平成24年6月21日（木）18：30～ 会場：山梨県立青少年センター

バイザー：甲府城南病院 吉澤 由香先生 スーパーバイザー：甲府城南病院 中村 晴江先生

##### ●第3回症例検討会 発表者：白根徳州会病院 新海 千春先生

日時：平成24年8月16日（木）18：30～ 会場：山梨県立青少年センター

バイザー：湯村温泉病院 原 多加子先生 スーパーバイザー：湯村温泉病院 赤池 三紀子先生

#### 【活動予定】

##### ●第4回症例検討会

日時：平成24年10月18日（木）18：30～ 会場：山梨県立青少年センター

### 教育部

#### 【活動報告】

##### ●第2回新卒者研修会

日時：平成24年7月19日（木）18：30～ 会場：甲府東公民館

内容：①対人コミュニケーションの基礎Ⅱ 甲府城南病院 中村 晴江先生

②回復期STの役割（講義、グループディスカッション）

湯村温泉病院 原 多加子先生、江川 恵先生

甲州リハビリテーション病院 小口 陽子先生

③STのやりとりについて－何を遣って何を取るか 湯村温泉病院 赤池 三紀子先生

### ●第3回新卒者研修会

日時：平成24年9月5日（水）18：30～

会場：甲府東公民館

内容：①維持期のSTの役割について

恵信甲府病院 磯野 朗子先生

②SLTAについて（講義・実技）

教育部部員

③講義

山梨リハビリテーション病院 保坂 敏男先生

#### 【活動予定】

### ●第4回新卒者研修会

日時：平成24年10月3日（水）18：30～

会場：未定

内容：①小児STの役割と現状について 石和共立病院 田中 律子先生

②臨床症状から摂食・嚥下障害を見極める 山梨リハビリテーション病院 長谷川 和子先生

## 社会局

### 職能部

- 職域に関する調査として、山梨県言語聴覚士会所属施設職域アンケートを実施する計画です。4月の診療報酬改定による環境変化も含め、実態調査となるため、ご協力をお願い致します。

### 地域連携部

- 三士会合同訪問リハビリテーション従事者研修会を本年度も開催します。詳細は決定次第ご連絡しますが、前回参加できなかった皆様にはこの機会にご参加頂けますよう、宜しく願い致します。
- 「いきいきねんりんピック」が、例年通り、9月29日（土）午前9時より小瀬スポーツ公園にて開催されました。
- 小児部門では、昨年に引き続き、「ことばの相談会」を9月23日（日）午前10時から石和共立病院の小児リハビリ室にて実施致しました。

#### 【お知らせ】

- 口唇口蓋裂の研修会（主催：クローバーの会）を今年度は言語聴覚士を講師として開催の予定です。12月2日（日）、午後1時半より4時まで、場所はぴゅあ総合です。
- 「第17回山梨県失語症者のつどい」が開催されます。日時は、12月2日（日）午前10時～午後3時の予定です。言語聴覚士のボランティアを募っていますので、多くの方のご協力をお願い致します。

## 広報局

### 会報編集部

- 山梨県言語聴覚士会NEWSの企画・校正・発行を行っています。
  - ◇第23号 平成24年6月1日発行、第24号 平成24年10月1日発行
  - ◇第25号 平成25年2月発行予定

### ホームページ 管理部

- 山梨県言語聴覚士会ホームページの管理・運営を行っています。会員向けお薦め情報（会員推薦図書・ちょっと一息）、会報web版が新たに加わりました。会員所属施設一覧も更新しました。ぜひ、ご覧下さい。また、トップページには、四季折々の山梨の風景を掲載します。会員の皆さま・ご家族、患者様が撮影した写真を通年で受け付けています（担当：白根徳洲会病院 村上 薫先生）。ご協力よろしくお願い致します。

## 病院紹介

### 独立行政法人 国立病院機構甲府病院



当院は、明治 42 年に設置された陸軍病院が始まりで、昭和 20 年に国立甲府病院、平成 16 年 4 月に独立行政法人 国立病院機構甲府病院となり、現在に至っています。当院の特徴は、一般地域医療、救急医療に加え、高度周産期医療、重症心身障害医療の役割を担い、特徴ある医療の提供を行っています。

リハビリテーション科は現在、理学療法士 6 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 1 名、マッサージ師 1 名で構成されており、一般病棟(内科、外科、循環器

科、脳神経外科、整形外科、小児科)と重症心身障害児病棟から様々な疾患、幅広い年齢の患者様のニーズに対してリハビリを提供しています。その中で言語聴覚士は嚥下障害へのニーズが多く、小児から高齢者まで嚥下リハや VF による評価などを中心に行っています。

言語聴覚部門は開設から 2 年半とまだまだ十分な体制の整っていない部門です。今後はより良い環境を整え、重心リハを行っている言語聴覚士として院内外に提供できるものが増えていければよいと考えています。

(文責 國井 真嗣)

## ふるさと紹介

石和共立病院 小池 和樹

私の出身地は、新潟県の最西端にあり日本の東西の境界線上でもある糸魚川市というところ。面積は約 750K m<sup>2</sup>、人口は約 4 万 5 千人で、甲府市と比較すると面積が約 4 倍大きく、人口が約 1/4 ほど少ない市です。名産品としては翡翠(ひすい)が有名で、その翡翠の中でも希少な「宝石質翡翠」が日本で唯一産出される場所として知られています。産出場所は、川の河原や河口付近の海岸などであり、自然の状態で保護されていることが多いことも特徴です。



また、当市はその自然の豊かさを受けて 2009 年には日本初の世界ジオパークに認定されています。

食べ物も豊かな自然の恩恵を受けて、山の幸、海の幸ともに豊富です。中でも幻魚(げんぎょ)、笹寿司などは糸魚川でしか食すことのできない一品です。このような自然のめぐみが豊富な糸魚川市をぜひ一度訪れてみて下さい。

# ～ちよつといい話～

りほく病院 小澤 辰馬

自分では一生懸命にきちんと説明しているつもりなのに、相手になかなか理解してもらえないことは往々にしてあります。そんなとき、「どうしてこれぐらいのこともわからないんだ」と、相手に対してイライラしてしまったりすることがありませんか？

相手が理解しないからと、責任を向こう側になすりつけていても、そこから先には進展しません。そこで、少し考え方を変えて、自分の話し方（説明の仕方）を何か違うものにしてみるということになります。もしかしたら、他の人から見たら実はあなたの説明の仕方の問題がある、ということがありうるかもしれません。

自分の言いたいことを相手に理解してもらおうと思うのなら、こちらもそのための努力や工夫をしなければならぬと思います。

「壁に向かって一人でキャッチボールをしようと思ったら、自分の手元にうまく返ってくるように、コントロールしてボールを投げます。なにも考えずに投げれば、ボールは返ってこないどころかあさっての方向に飛んでいってしまいます。それをボールのせいにするのっておかしいでしょ？」妄言多謝。

## 会員Pick Up!

～ 巨摩共立病院 向 亜希香先生のこの一冊 ～

紹介本：「PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養 栄養ケアがリハを変える」

若林秀隆著 医歯薬出版 3000円＋税

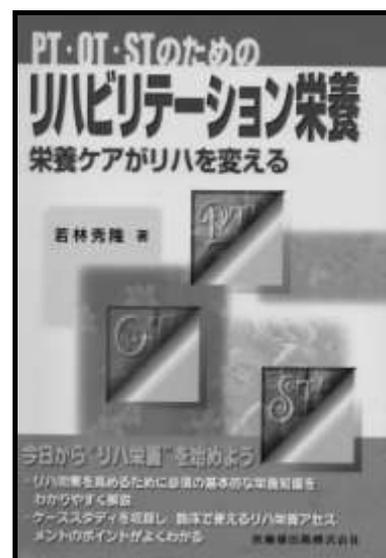
「リハビリテーション栄養」ということばに皆さんは聞き馴染みがありますか。

「栄養について勉強したいけれど、難しい本はちょっと…」とっていた頃に手に取ったのがこの本でした。

「栄養ケアなくしてリハなし、リハなくして栄養ケアなしと確信している」という著者。内容はリハビリテーションと栄養から始まり、リハビリテーション栄養ケアマネジメント、NST、疾患別のリハビリテーション栄養へと進みます。もしも、低栄養状態で不適切な栄養管理がされている患者さんに、高負荷のトレーニングを行った場合、どんな代謝変化が起こるのか。機能改善？機能維持？リハ目標の判断について。さらに、リハ栄養アセスメント・ケアプランの立て方についても、わかりやすく書かれています。

私は、リハビリテーション栄養の基礎を学習できた以外に、PT・OTさんに知ってもらいたいと思い、一緒に学習会をした時にもとても役に立ちました。

リハと栄養について興味がある方に、おすすめの1冊です。



《編集後記》

ロンドンオリンピックに負けないくらい熱い戦いが繰り広げられた全国高校野球選手権大会。山梨県代表の東海大甲府は、残念ながら県勢初となる甲子園決勝進出はなりませんでしたが、ベスト4という素晴らしい結果を残してくれました。

病棟からは大きな声援が聞こえ、エントランスホールからは拍手が沸き起こり、院内は活気に溢れていました。野球を知らない私も、患者さんと一緒に興奮してしまいました。

野球でのピッチャーとキャッチャーとの関係は、とても強い信頼関係が結ばれていると感じます。私も患者さんとの間に、そんな信頼関係を築けるようにしていきたいと思います。背番号はないですが、患者さんからエース番号をもらえるように、日々努力していきたいと思います。

《お詫び》

県士会NEWS23号「病院・施設一覧」にて白根徳洲会病院の掲載が落丁していました。大変申し訳ありませんでした。

白根徳洲会病院

〒400-0213 南アルプス市西野 2294-2

TEL : 055-284-7711 FAX : 055-284-7721

山梨県言語聴覚士会ニュース

〈発行所〉 山梨県言語聴覚士会

〈発行人〉 内山 量史

〈編集〉 山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集部

石和温泉病院 高橋 正和・南 曜子

石和共立病院 小川 洋美・澤中 麻由

一宮温泉病院 杉山 達也・平山 麻早美

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 外間 玲香

甲州リハビリテーション病院 石原 徳子・赤池 絢

甲府共立診療所 宮里 なつき

甲府城南病院 廣瀬 由紀・脇坂 英寿

市立甲府病院 丸井 章子

湯村温泉病院 又吉 梓

〈事務局〉 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内

〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府 436

TEL:0553(26)4126 FAX:0553(26)4366

〈発行日〉2012年10月1日 第24刊